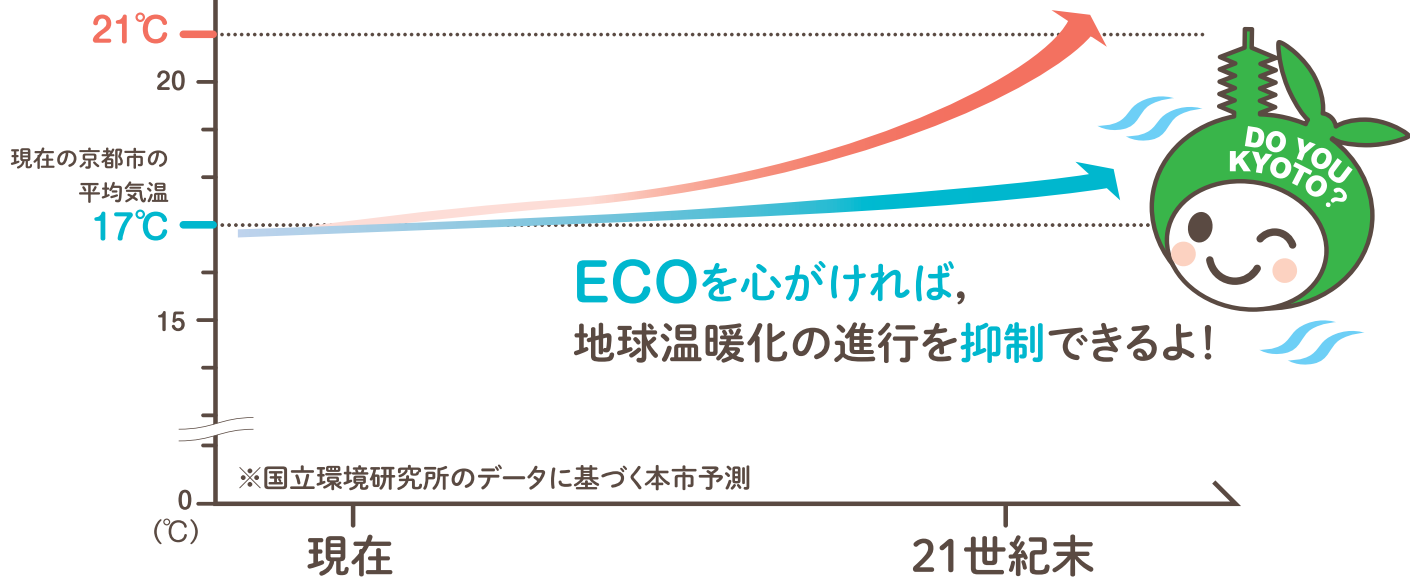


京都市の 地球温暖化対策

もし
環境を気にしないで
いると、将来どうなるの？

ECOを気にしない生活が続けていると、
CO₂(二酸化炭素)が増え、
ますます地球温暖化が進行！
21世紀末には、平均気温が21℃^{*}以上になるかも??



地球温暖化とは、二酸化炭素などの熱を吸収する性質を持つ「温室効果ガス」が人間の活動で増加し、大気中で濃度が高まることによって、地球の気温が上昇する現象のことです。京都市においても、平均気温が100年当たり2.0℃上昇し、大雨や集中豪雨が増加するなど、影響が現れてきています。

※ 各事業の詳細を知りたい場合は、冊子内に掲載しているQRコードを読み取っていただくか、裏表紙のお問合せ先までご連絡ください。

京都市の地球温暖化対策

京都市では、全国で初めて地球温暖化対策に特化した条例を制定し、**国よりも高い温室効果ガスの削減目標**を掲げ、地球温暖化対策に取り組んでいます。

京都市の削減目標

市域からの温室効果ガス排出量を、1990年度に比べ、

2020年度までに25%削減

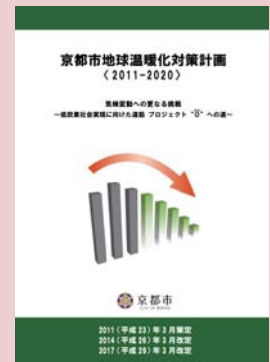
2030年度までに40%削減

長期的には80%以上削減

この削減目標の達成のため、「**京都市地球温暖化対策計画<2011-2020>**」を策定し、取組を進めています。2017年3月には、パリ協定の発効など、地球温暖化対策を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、更なる地球温暖化対策の推進を図るため、計画を改定しました。

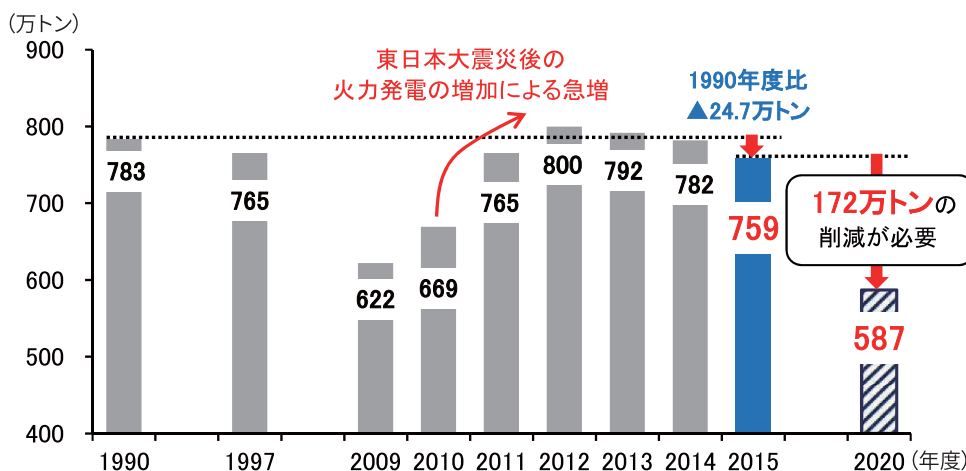
※ 2030年度の持続可能な低炭素社会像

市民・事業者の皆様と広く共感でき、共有することができる、2030年度の6つの低炭素社会像を提示しています。
3～5ページに社会像ごとの実績を紹介しています。



京都市の温室効果ガス排出量

最新年度の2015年度の温室効果ガス排出量は**759万トン**と、前年度(2014年度)から**23万トン減少**しましたが、2020年度の削減目標達成には、さらに**172万トンの削減が必要**であり、市民・事業者・行政が一丸となり、これまで以上に地球温暖化対策に取り組む必要があります。



温室効果ガス排出量のほとんどはエネルギーの消費によるものですが、**エネルギー消費量**は、市民・事業者の皆様の省エネにより、ピーク時(1997年度)から**26%減**となっています。



京都市では、「**DO YOU KYOTO?**」(環境にいいことしていますか?)を合言葉に、市民・事業者の皆様と一緒に地球温暖化対策を推進しています。

「京都(KYOTO)」という言葉は環境の面でも世界で広く知られており、この「DO YOU KYOTO?」を合言葉に、**京都から世界に向けてエコの輪を広げています。**

京都議定書の発効日にちなみ、**毎月16日を「DO YOU KYOTO?デー」とし**、「ノーマイカーデー」や「ライトダウン」などの取組を実施しています。



DO YOU KYOTO? グッズ

DO YOU KYOTO?の取組に賛同する宮井(株)と(株)一澤信三郎帆布が、賛同グッズとして、風呂敷とカバンを制作・販売されています。



【宮井(株)の風呂敷】



【(株)一澤信三郎帆布のカバン】

「YES, WE DO KYOTO!」プロジェクト

スターバックスコーヒージャパン(株)と連携し、市民参加型のワークショップから生まれた、日常の中で楽しくできるエコアクションの普及に向けた発信・実践を行っています。



DO YOU KYOTO? クレジット

地域コミュニティの省エネによって削減したCO₂を、京都市が「DO YOU KYOTO? クレジット」と認証し、それを事業者が購入することで、イベントや会議の低炭素化を図っています。



イベント

京都サンガF.C.
ホームゲーム

購入事業者

(株)京都パープル
サンガ



イベント

東寺秋期特別公開
(五重塔ライトアップ)

購入事業者

(株)ツー・ナイン・
ジャパン

「地球環境京都会議2017」の開催

2017年12月に国立京都国際会館において、京都議定書誕生20周年記念「**地球環境京都会議2017(KYOTO+20)**」を開催し、世界18箇国・地域から約1,000名の方々に参加いただきました。会議では、パリ協定が掲げる今世紀後半の温室効果ガスの実質排出ゼロの実現に向けて、温室効果ガスの大排出源である都市の責務を示した、「**持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言**」を発表しました。

＜2050年の世界の都市のあるべき姿(抜粋)＞

- ・ 自然との共生が実現している。
- ・ 市民の価値観やライフスタイルの転換が進んでいる。
- ・ 持続可能社会を構築する「担い手」が育成されている。
- ・ 技術革新と同時に、気候変動による影響への適応策が十分に進んでいる。
- ・ 循環型社会が構築されている。
- ・ 都市によるエネルギー自治が実現している。
- ・ 環境負荷の低減と利便性の向上が両立している。
- ・ 持続可能な社会の実現に向けた取組が社会問題の平和的解決に貢献している。

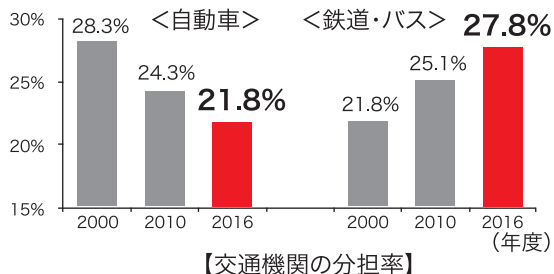


社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち



自動車分担率の低下

公共交通機関の利便性の向上や交通行動スタイルの転換の推進などにより、地下鉄5万人増客を2年前倒しで達成するなど、移動の際に自動車を使用する割合（自動車分担率）が下がり、鉄道・バスの割合が上昇しています。

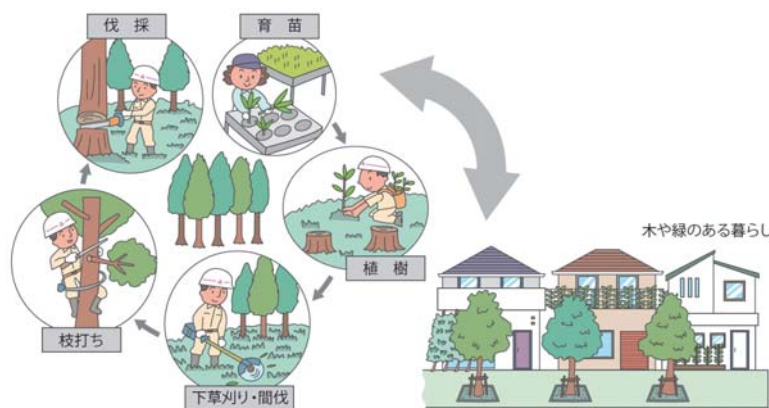


水素エネルギーの普及啓発

(株)ホンダカーズ京都山科西店において、再生可能エネルギーから水素を製造するスマート水素ステーションを設置し、水素燃料で走る燃料電池自動車（FCV）を活用した体験型水素学習をこれまで117回実施しました。



社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にするまち



バイオマス活用の推進～国の「バイオマス産業都市」に選定～

2017年10月に、国から「バイオマス産業都市」に選定され、豊かな森林資源、伝統文化、進取の気性など、京都のまちがもつ市民力や地域力を結集し、バイオマスの活用をより一層推し進め、「環境にやさしく災害に強い低炭素社会・循環型社会」の構築を目指します。



～バイオマス産業都市構想に掲げる「食の循環プロジェクト」の取組例～



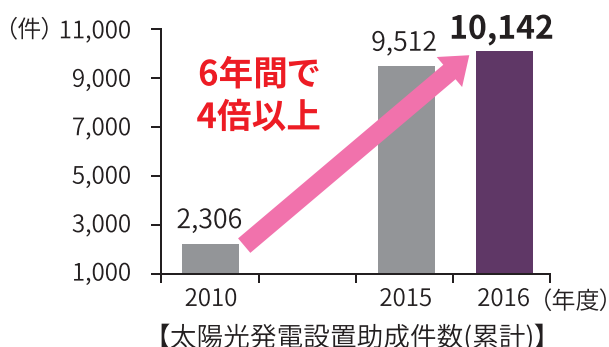
【竹から作ったタケノコの鮮度保持材】
(製造：(株)京都環境保全公社)

社会像3 エネルギー創出・地域循環のまち



再生可能エネルギー設備の導入支援

再生可能エネルギーの普及を図るため、太陽光発電システムや蓄電池、エネファームなどの設置助成を行っています。



市民協働発電制度の推進

市の施設の屋根等を貸し出し、市民の皆様が出資して太陽光発電システムを設置する「市民協働発電制度」と、法人などが出資する「太陽光発電屋根貸し制度」を実施しています。



市内計 (2016 年度末時点)

- ・ 35 施設
 - ・ 1,220.5kw
- ⇒ 市内家庭の約330世帯分に相当

社会像4 環境にやさしいライフスタイル



ラジオを活用した 環境啓発



2017年9月から5箇月間、(株)京都リビングエフエム(FM845)と連携し、身近にできる温暖化対策(クールチョイス)やイベントの開催などを発信しました。

♪聴取者の声(一部抜粋)

- ◆ 料理の時、鍋にフタをする、こまめな節電など、以前から、光熱費と時間の節約のためにしてきたことが、地球にも良い行動だと知りました。
- ◆ 家族で相談してお風呂に続けて入る、車よりも健康のために歩く、電車やバスを使うことなどが、クールチョイスを実践できていると知って嬉しくなりました。これからも続けたい!

みやこ 京の再配達を減らそう プロジェクトの実施



2017年11月から3箇月間、パナソニック(株)、京都産業大学、ヤマト運輸(株)、佐川急便(株)、日本郵便(株)と連携し、宅配便の再配達増加に伴う環境問題と労働環境の改善を目指し、京都産業大学と学生アパート5箇所に宅配ボックスを設置し、再配達削減効果の実証実験を実施しました。

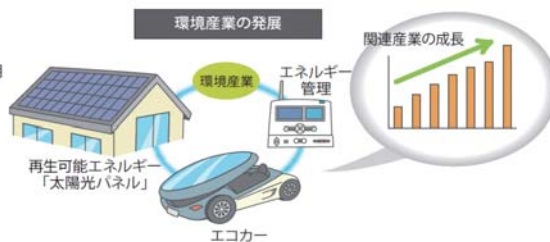


【京都産業大学に設置した宅配ボックス】

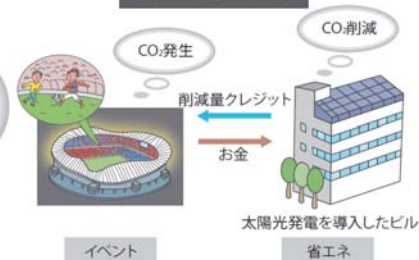
社会像5 環境にやさしい経済活動

高効率機器の導入の促進

高効率機器を導入しているオフィス



環境価値の創出・循環



事業者排出量削減計画書制度の推進

京都市の温室効果ガス排出量の約4分の1を占める特定事業者※の排出削減を促す「事業者排出量削減計画書制度」を推進しています。2014～2016年度の平均排出量は約191.1万トンと、基準排出量から約21万トン、9.9%の削減となりました。

また、2017年12月に、3箇年の取組が特に優れていた特別優良事業者7者、優良事業者30者を表彰しました。

※ 年間のエネルギー消費量が原油換算で1,500kL以上など、地球温暖化対策条例に規定する事業者。



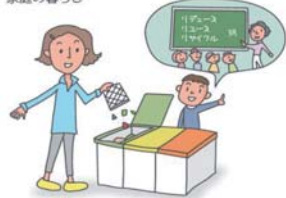
【特別優良事業者の表彰】

社会像6 ごみの減量

昔と比べてごみの量が減る



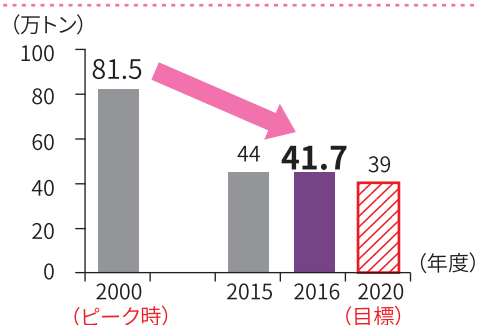
家庭の暮らし



リユース



お店や工場では



【京都市のごみ量の推移】

食品ロスの削減の推進

食品ロス(食べ残し・手つかず食品)の削減を図るため、全国で初めて食品ロス削減の数値目標を明確に定め、「生ごみ3キリ運動」や「食べ残しゼロ推進店舗認定制度」などの取組を推進しています。

京都市
食べ残し
ゼロ
推進店舗

【認定マーク】



京都市ごみ半減・ごみアプリの配信

ごみの減量や分別・リサイクルに関心を持っていただき、楽しみながら実践していただけるよう、スマートフォンアプリ「京都市ごみ半減・ごみアプリ」を2016年12月から配信しています。

ダウンロードは
こちらから⇒



【Android 用】



【iOS 用】

私たちにできること

私たちの普段の生活の中には、行動を少し変えることで地球温暖化対策につながるものがたくさんあります。次に紹介する取組はほんの一例です。一人一人の行動の積み重ねが地球温暖化を防止します。皆さんも今できることから始めてみよう！

電車・バス・自転車を使おう

通勤やお出かけの際は、一度に多くの人を運ぶことができる、電車やバスなどの公共交通機関を使いましょう。また、行き先が近い場合は、自転車を使ったり歩いたりすると健康にも良いです。

※ 自動車に乗る場合、「ふんわりアクセル」や「急な加速・減速を減らす」など、**エコドライブ**を心がけましょう。



リデュース・リユース(2R)を心がけよう

ごみを燃やすとCO₂が発生するので、そもそもごみを出さない「リデュース」と、再使用する「リユース」に取り組みましょう。例えば、買い物の時に、「むだな物を買わない」や「詰替商品や再使用できる製品を買う」、「マイバッグを利用し、レジ袋はもらわないようにする」などを心がけましょう。

※ リデュース・リユースだけではなく、缶・びん・ペットボトル、紙ごみなどリサイクルできるごみの分別にも取り組みましょう。



省エネ性能の高い家電を選ぼう

家電の買替えの時は、価格や性能に加えて、省エネ性能も確認して選びましょう。省エネ性能の高い家電は電気代の節約にもなり、地球にも家計にもやさしいです。

(例) 電気代の比較 (円/年)

	(2007年製)	(2016年製)
エアコン2.8kw	29,052円	⇒ 24,354円【4,698円節約】
冷蔵庫401~450L	15,228円	⇒ 9,531円【5,697円節約】

(出典) 資源エネルギー庁「省エネ性能カタログ2017夏」



普段の生活の中でCO₂の排出抑制につながる選択を行うことを、「**COOL CHOICE(クール CHOICE)**」といい、お鍋やアイスなどを食べて体温を調整する、できるだけ1つの部屋に集まる、厚手のカーテンを使うなど、様々な取組が紹介されています。



環境省COOL CHOICE
イメージキャラクター



君野イマ

君野ミライ

SDGs ～2030年の世界共通の持続可能な開発目標～

SDGs（エスディージーズ）とは、“Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）”の略称で、2015年に国連で採択されました。

SDGsは“**全ての人が豊かで満たされた生活を享受できること**”を目指し、2030年までに全ての国・地域がその達成に向けて取り組むこととされています。

京都市はSDGsの達成に向け、積極的に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



この冊子は、京都市の地球温暖化対策をまとめたものです。

より詳しい情報については、『京都市 年次報告書』とインターネットで検索するか、右のQRコードを読み取ってください。



【お問合せ先】京都市 環境政策局 地球温暖化対策室

〒604-8005 京都市中京区河原町通三条上る恵比須町427番地 京都朝日会館5階

(電話)075-222-4555

(E-mail)ge@city.kyoto.lg.jp

平成30年3月発行 京都市印刷物 第293186号

この印刷物は、不要になりましたら「**雑がみ**」としてリサイクルできます。**コミュニティ回収や古紙回収等**にお出しください。

